

# 凡事徹底 野間中だより

平成27年2月9日  
第204号  
野間中学校

## 偉業達成！全国大会優勝！上位独占野間中生！

1月24日（土）・25日（日）に第15回全国中学生「創造ものづくり教育フェア」パソコン入力部門が東京で開催されました。この大会は全国各都道府県の代表の中学生約100名が出場。100名で準決勝を行い、15名が決勝ラウンドへ進出し、決勝で野間中2年生の久綱陽平君が見事優勝しました。また、第2位には千賀捺月さんが、そして第3位に松本百加さんが入賞し、野間中生の3人が全国大会で上位独占という偉業を成し遂げました。

### 全国中学生「創造ものづくり教育フェア」

パソコン入力和文	第1位	久綱	陽平
	第2位	千賀	捺月
	第3位	松本	百加

主催：全日本中学校技術・家庭科研究会  
共催：文部科学省他 後援：厚生労働省他



全国大会優勝・入賞おめでとう！

## 特別清掃強化区域 清掃活動報告

現在3年生5名が特別清掃区域を設定し、清掃に取り組んでいます。担当の生徒はもともと昇降口ホールの担当で、主にホールのホコリや砂を清掃し、足跡などを消す活動をしてきました。毎日の清掃の中で、学校中の廊下・階段を「素足で歩いても足の裏が汚れない廊下・階段」にできないかと先生と相談し、12月からホール担当の中から5名が学校を巡回し、普段の清掃では汚れ落ちづらい廊下や階段を特別清掃強化区域に設定し、その区域を集中的に清掃しています。

### 特別清掃強化区域清掃担当より

足跡など普段の清掃だけでは汚れが落ちきらない廊下や階段は以下の手順で部分的に清掃を行っています。

- 手順①廊下のホコリや砂を取り除く
- 手順②スポンジたわしやスチールたわしを使って汚れを落とす
- 手順③雑巾で水拭きをする
- 手順④液体ワックスを塗る。
- 手順⑤雑巾で仕上げをする



この手順①～⑤を集中的に行います。また、ワックスを乾燥させるため部分的に一時通行部分を制限させていただいています。ご迷惑をおかけしますがご協力お願いします。

汚れの大半は上靴の裏の汚れが原因です。自分の靴の裏側を一度見て、汚れている場合はきれいにさせていただくと幸いです。

「素足で歩いても足の裏が汚れない廊下・階段」を目指して卒業までこの活動を続けていく予定です。

## 入学生説明会

2月4日（水）本校で来年度入学予定児童と保護者を対象に入学生説明会を行いました。中学校での教科ごとに先生がかわる教科担任制や教育課程、生活の決まりなどを説明し、部活動紹介と歓迎を込めて合唱部が歌を披露しました。

後半、児童は部活動見学、保護者の方々は家庭教育講座を行いました。



在校生・職員一同、心から新入生のみなさんをお待ちしております。



編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 [nomajh\\_dayori@yahoo.co.jp](mailto:nomajh_dayori@yahoo.co.jp)

「他者とのきずなを大切にし、思いを表現できる生徒の育成」  
 —各教科・領域における言語活動の充実を通して—



本校は「一昨年度より」他者とのきずなを大切にし、「思いを表現できる」生徒の育成を目指した授業等に取り組んできました。手立てとして、各教科・領域における言語活動の充実を図ることに重点をおき研究を進めてきました。研究2年を終え、生徒たちの授業の様子は、以前よりも静かに人の話を聞くことができ、積極的に発言できるようになってきたものの、生徒相互に思いを表現し合うまでには至っていないと感じました。そこで、3年目となる今年度は、授業や行事の中で存在感や達成感を味わうことができる工夫や、教師の授業力向上に重点をおいて研究を進めました。研究の実践である「わかる授業」「発言しやすい授業」「認め合う授業」を目指した授業実践を連載で紹介いたします。

今回は新海未知子教諭の第3学年 英語科 Unit4 Learn by Losing 「It is... for - to～」の授業実践を紹介いたします。

新海未知子教諭の授業実践

第3学年 英語科 Unit4

「疑問詞＋不定詞」や「It is... for - to～」の構文は日常生活や会話で使用頻度が高い表現で、自分の気持ちについて説明を加えたり、相手に尋ねたり依頼したりするコミュニケーション活動が可能になります。本授業では基本的な用法を再確認しながら、新出事項の用法や意味を理解し、運用できる力を養うことを目標としました。

学習計画

「It is... for - to～」を用いてペアワークを行い、互いにどんなことが「簡単／難しい／楽しい／重要である」のかを伝え合い、自分のことについて相手に伝えるだけでなく、そう思う理由を付け加えて話すことで、そこから会話が発展していくような活動を行いました。

- ① 4人1組のグループをつくり、単語カードを並べて、「It is... for - to～」を用いた、自分について説明をしている英文をつくる。
- ② 自分について説明する英文の中から1つ選び、ワークシートに記入する。そのときに、なぜそう思うのか、理由も合わせて書く。
- ③ グループの仲間と実際に会話する。互いに「なぜ」と聞き合い、会話の内容を発展させる。自己評価と感想を記入し、自分の会話活動を振り返る。



教諭 新海未知子



単語カードを使っでの英作文

言語活動の充実に関わる教科の目標や研究主題に迫る具体的な手立て

言語活動を充実させるために、下記の手立てをもって、授業を行いました。

- ① 単語カードを使用させることにより、どの生徒も英作文にチャレンジしやすい状況をつくる。また、多くの動詞や形容詞、名詞のカードを準備することで、バリエーション豊かな英文を作ることができる。
- ② グループワークを取り入れることで、自分がつくった英文を友達同士で紹介し合い、アドバイスし合うことで、様々な英文を目にすることができたり、自分のミスに気づいたりすることができる。
- ③ 英文をつくって伝える活動にとどまらず、相手の意見にさらに問いかけることで、相互理解を深め、互いについてより多くの情報を掴みながら、コミュニケーション活動をさらに活発なものにしていけるようにする。

考察

まず、単語カードを用いたことで、全員の生徒が積極的に活動に取り組むことができました。4人1組のグループに100枚以上のカードを準備したことで、また、品詞によって色を変えるなどの工夫をしたことで、生徒たちからは、「準備されたカードの中だけでも、様々なパターンの英文を作ることができ、とても楽しかった」「文法の順番がよく分かり、英文が作りやすかった」という感想を多く聞くことができました。

また、会話の内容を膨らませるために、一方からの発信で終わるのではなく、「なぜ〇〇があなたにとって△△なのか」と問い、それを答えさせることによって、相互理解を深められるような活動としました。「グループの仲間のことが少しわかったと思う。」「興味深い理由があっておもしろかった。」など、伝え合うことを楽しんでいる様子も多く見ることができました。

単語カードを用いることで、「It is... for - to～」の英文は、誰もが比較的簡単に作るすることができます。ただ、理由を述べる際に、It is easy for me to play soccer. Because I have practiced soccer for 10 years. (私にとってサッカーをすることは簡単です。なぜなら、10年間ずっと練習してきているからです。)というように、現在完了形など、既習の表現を使って英文を作ることができる生徒にとっては、よい応用練習になり、できたことが自信にもつながると思います。



次号は山本真依子教諭の1年生保健体育科（男女共修）球技（バレーボール）の授業実践です。